



# 六郷 ろくごう

六郷小学校

H29. 4. 28

No. 4

## 子ども達の主体性を育てる場として

いよいよ運動会の練習が始まりました。26日(水)には第1回の「色別集会」が行われました。色ごとに4列に並ぶことからスタートし、ばらばらになってどの色が早く並べるかを競争するなどして、自分の並ぶ場所を覚えていきました。その後、体育館、ホール、音楽室に分かれて色ごとの応援練習をしました。6年生があらかじめ相談して決めた、応援のやり方が書かれている「〇組だより」というプリントが渡り、それに基づいて練習が行われました。



下の段の4枚の写真を見てもらえればわかるように、練習の随所に6年生ががんばる姿が見られました。左から、1年生を並ばせているところ、応援のやり方を説明、プリントの配付、それぞれのメンバーの確認というように、6年生の仕事はたくさんあります。

運動会の目的の一つは、「6年生のリーダー性・主体性を育てる」という点にあります。6年生は運動会を通してたくさんのことを学び、本物のリーダーとなっていきます。六郷小学校の目指す姿を示したキーワードである「主体性、つながり、自分」、その中の一つである「主体性」をこの機会に身につけてほしいと願っています。6年生の保護者の皆様には、どうか子ども達のがんばりを聞いてあげていただければと思います。

## 縦割班の顔合わせもスタート!

異学年のかかわりを作る場として、今年度も縦割班がスタートしました。今回は、最初の顔合わせです。先週お伝えしたように、各自が紹介用の名刺を作って集まりました。その名刺を交換して、メンバーの名前を覚えます。これから、いろいろな場面で縦割班での活動が行われます。



# 1・2年生 学校探検 「ここは、〇〇の部屋です。」

2年生が1年生をつれて、校内のいろいろな場所を案内して歩く「学校探検」が行われました。保健室、職員室、校長室、音楽室、放送室、家庭科室など、たくさんの場所を探検します。2年生のねらいは、「1年生に教えたことを考え、学校の中を案内できる。」です。そのために、2年生は事前に練習を行っていました。前日に校内を回って、1年生への説明の仕方を確認していました。その練習の甲斐あって、当日はスムーズな説明ができていました。



校長室にも、次々にグループがやってきました。校長室に入ってくると、2年生が、「ここは校長室です。校長先生がお仕事をする部屋です。」と1年生に話します。そして次に「校長先生と握手をしましょう。」とってくれるので、私は1年生一人ひとりと握手をしました。(右端の写真)

## 「主体性」を育てる取り組み

この学校探検は、2年生の子ども達に主体性を育てる取り組みだと感じています。昔であれば、担任の教師が子ども達を連れて学校の中を見て回っていたものです。その目的は、「1年生が校内のいろいろな場所を知る。」ことが目的だったからです。しかし、今の学校探検の目的は、1年生のねらいは同じですが、2年生にとっては「自分たちの力だけで1年生を案内し、説明ができる。」になります。ですから、2年生は事前に練習を重ね、実際にその場所を前日に歩きながら本番を迎えました。

2年生のどのグループも大変立派でした。校長室に入ってきて、何を話すのかを2年生のメンバーで確認し合いながら、説明を始めていました。六郷小学校の目指す姿のキーワードの「主体性」が育つ、絶好の機会でした。同じ取り組みであっても、どのように子ども達に役割を求めるかによって、主体性が育つ場となるかが決まってきます。

## いかにして子ども達に任せるか

「主体性」を育てるために、子ども達に「みんな、もっと主体性をもたないとだめだ。」と言ったところで、主体性が育つわけではないことは誰しもがおわかりのことと思います。しかし、昔の学校は、意外とこういった指導を繰り返してきました。つまり、「言えばわかる」という教師ならではの論理です。そして、そういった力がつくはずもなく、「みんなは何をやっているんだ。」と子ども達がしかられる羽目になります。



これは笑い話ですが、現在の学校は違います。上記の学校探検のように、子ども達に実際の経験を通して、主体性とは何かを考えさせ、主体的な行動を身につけさせます。上の写真は運動会練習の一コマです。1年生だけの列の先頭に6年生4人が色別についています。1年生をしっかり並ばせたり、移動するときに指示を出したりします。始まったばかりなので、6年生もまだ戸惑っていますが、写真のような行動も見られてきました。これは、1年生の帽子を直してあげている様子です。6年生として1年生と何回か行動を共にする中で、1年生への親しみもわき、こういった行動を自然にとれるようになってきたのかもしれない。

主体性を育てるには、「子ども達に、主体性が育つ場を与えること」です。子ども達に思い切って任せることが必要です。任せられれば、必ず期待に応えようとがんばってくれます。運動会を通じて。特に6年生がどれだけ主体性を発揮してがんばってくれるか、その鍵は実は我々教師側にあるような気がします。